

平成 31 年度 北海道教育大学大学院教育学研究科（専門職学位課程）入学試験
（一般選抜前期募集）
高度教職実践専攻 「小論文」

〔問題〕

平成 29 年 3 月に告示された小・中学校の新学習指導要領では、新たに前文が設けられ、教育や学校の役割、「社会に開かれた教育課程」の実現など、目指すべき理念が示されている。

その「社会に開かれた教育課程」については、中央教育審議会答申（平成 28 年 12 月『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について』）を踏まえ、下記の通り記されている。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に開かれた教育課程の実現が重要となる。（『小学校 新学習指導要領 前文』から）

「社会に開かれた教育課程」の実現を図るために、学校として、どのように取り組むのか、下記 3 つの視点にふれながら 1200 字以上 1500 字以下で記述しなさい。

なお、試験終了後、解答用紙（2 枚）のみを提出すること。

【 共有化 資質・能力の明確化 地域社会との連携・協働 】

15

30

